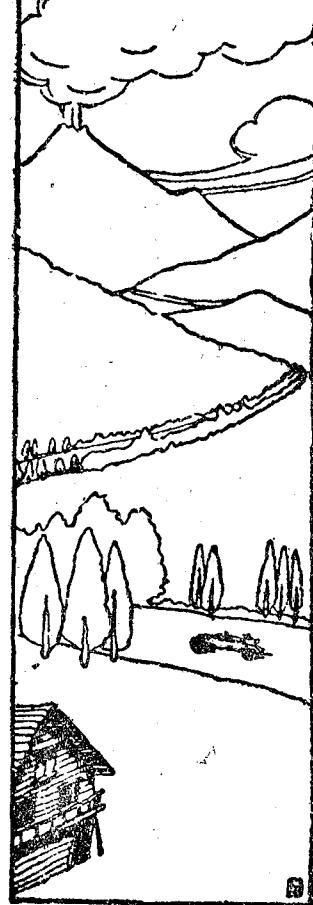


# 論說



## 迎年の辭

會長水野鍊太郎



我國の交通機關の尙ほ未だ不完全なることは言ふまでもない。殊に道路の如きは其の最も  
亟しきものである。故に自分は此の點に就いて久しく道路改良の必要を唱へ來つたのであるが、此の事  
に就いては度々種々の機會に於いて之を論議し來つたのであるから今更ら事新らしくこれを言ふの

必要はないと思ふ。

今日我國の状況を觀るに、財政の點に於ても經濟の方面に於いても極めて難境にあるの感がある。對外爲替は漸次に下落し、物價は昂騰し、失業者は増し、事業は起らず、各方面に於いて行詰りの感があるのである。殊に戰後輸出は輸入に超過し、益々悲境に陥らんとして居るのである。併ながら大局を通觀するに必ずしも徒らに悲觀するの要はない、益々進取の氣象を發揮し此の難關を切抜けるの決心を持たなければならぬ。

## 二

元來我國は國土狹小にして物資また豊富ならず、隨つて物資を外國に仰がねばならぬ状況である。隨て輸入が輸出に超過することも亦已むを得ないのである。輸出輸入の品目に就いて之れを觀るも、輸入する物品は、我國に於いて最も必要とする種目が多く、例へば鐵の加き棉花の如き石油の如き總べて之れを外國に仰がねばならぬ状況である。又輸出の品目は生絲の如きは外國に出る重要產物であるが、其の他の物品の如きは尙ほ未だ其の多くを輸出するの望みはないのである。故に輸入が輸出に超過したりと、言つて徒らに悲觀することを要せない、唯だこれが根本策としては、我國の物資の開發を積極的に進めるの方法を執るの外はないのである。

## 三

我國の今日の状況を観るに、國土狭小なりと雖も、尙ほ開發すべき餘地決して鮮くないのである。東北地方の如き、北海道の如き、更に進んで朝鮮、樺太、臺灣の方面を見るも、開拓すべき餘地は決して鮮くないのである。これ等諸地方に於ける天然の物資が尙ほ死藏せられて、空しく地中に埋没して居る物も鮮くないのである。之れが開發に相當の力を用ふるに於いては、幾多の物資を生産すべき餘地はあるのである。唯だ資金の缺乏と交通機關の不便なるが爲めに出づべき物資も出でず、開發すべき土地も開發せられず居る状況である。故にこれに對して相當の計畫を立てるに於いては、我國の富源を開發すべき餘地は尙ほ十分にありと思はれる。唯だ鐵道の如き、道路の如き、交通機關が完備せられざるが爲めに、開發上に非常なる障害を爲して居るのである。故にこれ等の設備が完成せられる時に於いては、我國の富源も相當に開發せられ、物資の搬出も爲し得られると思ふ。

#### 四

斯る理由に依つて、我國の國策としては、交通機關を完成することが最も應急の必要事たることを失はないのである。此の點よりして、道路改良の如きは最も力を致さねばならぬこと、と思ふ。道路が開發せられたるが爲めに、文化が進み、物資が出て、其の地方の發展を促したる實例は決して鮮くないのである。然るに我國に於ける道路は維新以來極めて不完全であつて、僅かに步行者の便に供するに止つて、今日の進歩したる自動車交通の便の如き殆んど爲し得られざる状態である。故に此の世界文化の進歩に伴つて、此の點に最も力を致さなければならぬことは言ふまでもないことである。從來道路に

對して費用を投じたることは極めて少く國並に地方費に於いてこれが支出をなしたことは極めて少額である、之れを以つて地方の開發を望むといふことは至難と言はなければならぬ。我國の交通の幹線たる國道すら未だ十分なる改修をなすことは出來ないので、勾配は極めて急に幅員は極めて狹小で其の間の橋梁すら未だ完全なるものなく、僅かに渡船を以つて之れを補つて居るが如き状況である。斯の如くにして如何にして地方の發展を圖り、物資の產出を見ることが出來やうか、此の見地よりして曩に内務省に於いては道路政策の根本方針を立て、道路法を制定し國道其の他樞要の道路に對しては、國費を以つて之れを補助するの方針を立てたのである。然るに財政上の見地より此の方針に變革を來たし、其の遂行を全ふすることを得ざるに至つたことは、甚だ遺憾なりと言はなければならぬ。

本會は此の點に銳意努力して、或は政府に對して意見を提出し、或は地方官廳に對して建議をなし、其の幾分かを救ふことを得たのである。十四年度豫算の如きも、國道の補助費に對して削除せらるゝの運命に遭はんとしたのであるが、本會に於ては其の不可なることを建言して假令十分ならざるも其の幾分を残すことを得たのは不幸中の幸と言はなければならぬ。尤も地方に依りては或は不急と認められる土木事業もないとは言はれないるのであるが、達觀して之れを見れば、交通機關の發展に就いては能く其の路線等の狀況を審査して、其の必要なものは、極力これが完成を圖ることを考へなければならぬと思ふ。

## 五

外國の道路政策を見るも此の點に就いては最も能く意を致し其の財源を考慮し其の適當なる財政計畫を立て、交通機關の發達に力を用ひつゝある。故にこれ等の諸國に於いては實に立派なる道路あり、交通上の便利と經濟上の發展を促して着々國富の増殖に貢獻して居るのである。殊に失業問題の救濟に就いては、土木事業を起してこれが救濟を爲し、これが爲めに一面に於いては失業者を救ひ、一面に於いては公共事業の發展を促しつゝあるのである。我國に於いても此の點に意を用ひて財政の計畫に就いてこれ等の事に思ひを致して、適當の方策を建つることを必要なりと思ふ。我國に於ける今日の情勢は、諸般の點に於いて行詰れるが如き状況であるけれども、唯だ徒らに悲觀し徒らに退嬰の方策を探り、國民精神をして萎微沈澁せしむるが如きことは探るべき策でないと思ふ宣しく開國進取の方針に依り、國家の健全なる發達を促がし、以つて國富を増し國力を充實せしむるの方策を探らねばならぬことゝ思ふ。これが爲めには官民ともに能く此の趣意を體して、今後益々緊張したる氣分を以て事に當り、其の能率を増進し、國家の富力を一分にても二分にても之れを進めるの決心を爲さなければならんと思ふ。

大正十四年の新年を迎ふるに方り、特に此事を一言して諸君と共に緊張したる精神を以て事に當るの覺悟を爲したいと思ふ。道路問題の如きは其の一部に過ぎないのであるけれども、これ亦國家の重要な施設の一部たるが故に、茲に之れを提唱して本會の趣旨のある所を聲明せんとするのである。

(完)